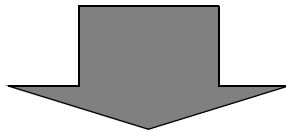


平成26年度  
三好高等学校：「学力向上実行プラン」（概要版）

＜本年度の重点目標＞

- ① すべての学力の基礎となる「読み・書き」「計算」の力を高める。
- ② 基礎学力を向上させることで、自ら判断し行動する力を育成させる。
- ③ 学校生活を通して、継続して学習する習慣を身につけさせる。



目標実現のために

校内独自の漢字検定

数学の学び直しトレーニング  
(マナトレ)

生徒が主体的に参加する授業  
(三好高校アクティブラーニング)

授業の欠課時数の減少

＜具体的方策＞

1. 校内漢字検定

- ・週1回帰りのショートホームルーム時に10分間漢字検定の学習を行わせる。
- ・授業、ホームルーム、放課後、長期休業中を利用して、指導回数を増やし、学校全体で校内漢字検定学習に取り組む。
- ・練習プリント等教材を工夫する。
- ・漢字検定学習の意義を説明する。

2. マナトレ

- ・週1回朝のショートホームルーム後25分間、担任を中心に各ホームルーム2～3名の教員で数学の学び直しの指導を行う。例題の解き方を教員が説明した上で、個別指導にあたる。生徒の実情に応じて三好高アクティブラーニングも取り入れる。

- ・過去の問題を「日々の計算プリント」で毎日復習させる。
- ・各学期ごとに確認テストを行い、到達度を確認する。
- ・長期休業中に復習課題をさせる。

### **3. 生徒が主体的に参加する授業へむけて（三好高校アクティブラーニング）**

- ・授業は原則公開とし、効果的な授業方法や教材についての情報を学校全体で共有する。
- ・教科・ホームルーム担任連絡会を年1回以上実施し、個々の生徒の特性とその効果的な授業方法について共通理解を図る。また授業力向上に関する研修・特別支援教育に関する研修を年1回以上行う。
- ・出張の精選・可能な限りの授業振替を行い、授業時数を確保する。
- ・落ち着いて授業に取り組めるように教室環境を整える。
- ・生徒アンケートの結果を参考に授業を改善する。
- ・学習内容と実生活の関連を生徒に意識させ、授業への関心を持たせる。（1，2年）
- ・個々の進路と学習内容を結びつけることで、授業へのやる気を起こさせる。（3年）

### **4. 授業の欠課時数の減少**

- ・長期休業中に生活記録をつけさせ、生活リズムが崩れないようにする。
- ・生徒指導課と連携し、遅刻が多い生徒に対して改善指導を行う。
- ・授業の欠課における補講は、可能な限り学校で実施する。
- ・担任の面談や学級通信、全校集会時の講話等を通じて、学校を休まないことの大切さ、継続して学習することの大切さを啓発する。
- ・課題テストを実施する。その際、生徒が主体的に取り組めるように事前指導・事後指導を行う。（1年）